

専用ポンプとジェット風船の使い方



1

カチッと音がなるまで



風船にポンプを装着する。

きっちりと笛をホルダーの爪にひっかける。

2



ポンプのロッド部分を上下に動かし、空気を入れます。

※膨らませすぎると、破裂する恐れがあります。

3



空気を入れ終わったらホルダー部分の発射装置をつまむとポンプから風船が外れて飛んでいきます。

※風船が自立するまで、ポンプで空気を入れてください。(風船に空気がしっかり入ってないと飛びません)

※風船を飛ばすときは「タテ」にして飛ばしてください。



必ず、専用ポンプで膨らませてね!



ジェット風船は口で膨らませないでください。

専用ポンプをご使用ください。



ジェット風船を膨らませる際は周囲のお客様へご配慮いただき、インニング中に膨らませる行為などはご遠慮いただくようお願いします。



過去のジェット風船や、専用ポンプ以外で膨らませるジェット風船のご使用は禁止します。

※京セラドーム大阪及び日鉄鋼板SGLスタジアム尼崎でのジェット風船の使用は引き続き禁止いたします。

※ジェット風船はピジター/ホームとも7回攻撃開始前のみとなります。※係員の指示に従わない場合、ご退場いただくことがあります。

ジェット風船の回収についてご協力のお願い

阪神タイガースでは、ジェット風船を将来にわたって持続可能な演出として実施するため、使用後のジェット風船の回収とリサイクルに取り組みます。球場内に専用回収ボックスを設置いたしますので、ご来場の方に使用後のジェット風船の回収にご協力をお願いいたします。回収ボックスはジェット風船専用です。ジェット風船以外のゴミ等の投入はご遠慮ください。

他のゴミが混入しますと、リサイクルができなくなってしまいますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

ジェット風船のリサイクルについて

2026シーズンから使用・販売するジェット風船は、昨年の実証実験で使用したものと同様、リサイクルが可能な仕様とし、空気注入部分(笛)には、阪神甲子園球場のオフィシャルエコパートナーである帝人フロンティア株式会社の協力を得て開発した、ペットボトルキャップの再生原料(阪神甲子園球場で回収したペットボトルキャップも一部使用)を使用します。また、使用後のジェット風船は専用ボックスで回収し、空気注入部分(笛)は新たな空気注入部分(笛)にリサイクルするとともに、風船本体に使用されている天然ゴムもゴム製品へのリサイクルやエネルギーとして活用いたします。



専用回収ボックスイメージ